

デジタルコンテンツ分野の理論と実務を架橋した研究成果  
デジタルハリウッド大学研究紀要  
『DHU JOURNAL Vol.10 2023』発行  
『DHU INTERNATIONAL JOURNAL Vol.01 2023』  
を新たに発刊  
2023年12月16日より電子版配布開始  
『研究紀要論文発表会』を同日開催(要予約)  
日時:2023年12月16日(土)14:00~17:00



デジタルハリウッド大学 研究紀要

**DHU JOURNAL**

Vol.10 2023

*digital hollywood university*

研究紀要論文発表会

日程:2023年12月16日(土)14:00~17:00

会場:デジタルハリウッド大学駿河台キャンパス3F

文部科学省認可の株式会社立の大学として、デジタルコンテンツと企画・コミュニケーションを学ぶデジタルコミュニケーション学部(4年制大学)と、理論と実務を架橋し新たなビジネスを生み出すデジタルコンテンツ研究科(専門職大学院)を設置しているデジタルハリウッド大学(所在地 東京・御茶ノ水、学長 杉山知之)は、この度デジタルハリウッド大学研究紀要『DHU JOURNAL Vol.10 2023』を発行します。また、10年目となる2023年度は、英語による国際版『DHU INTERNATIONAL JOURNAL』を分冊化し新たに刊行します。(エディター:山崎敦子特命教授)

【デジタルハリウッド大学 研究紀要『DHU JOURNAL』について】

『DHU JOURNAL』は、本学の教員、研究員、職員、学生、卒業生、及び修了生等が行った幅広い教育研究活動および実践により蓄積された知見を公表し、その成果を広く大学関係者等に伝えるとともに、大学関係者等の実務に還元することを目的に発刊しております。

今号では、編集方針として、これまでの研究教育活動の成果をまとめた「これまでのまとめ」と、他では受け入れられにくいような先端的で萌芽的なテーマを論考した「未来への挑戦」とを二つのテーマとして掲げ、投稿を募りました。本学の教員、関係者、大学院を修了した研究員、現役の大学院生等から、バランス良く投稿されています。

## 【「DHU JOURNAL Vol.10 2023」「DHU INTERNATIONAL JOURNAL Vol.01 2023」の配布について】

■ 電子版は、下記ページより12月16日(土)から閲覧およびダウンロードが可能です。

<https://msl.dhw.ac.jp/journal/>

■ 製本版のご請求は、下記までお問い合わせください。

デジタルハリウッド大学 産学官連携センター

[iug-info@dhw.co.jp](mailto:iug-info@dhw.co.jp)



## 【研究紀要論文発表会について】

発刊に伴い、掲載論文を中心とした発表と意見交換を行うための「研究紀要論文発表会」を開催いたします。本発表会は、本学ならではの多彩な研究成果の発表を行うとともに、本会終了後に参加者同士のネットワーク構築の一助とすべく、交流会を行います。

研究紀要論文発表会に参加の皆様には、『DHU JOURNAL Vol.10 2023』と『DHU INTERNATIONAL JOURNAL Vol.01 2023』を進呈いたします。

下記の予約ページにより参加予約の上、ご参加ください。

<https://journal10.peatix.com> (要事前予約)

## ■研究紀要論文発表会 開催概要

日時 : 2023年12月16日(土) 14:00~17:00

※終了時刻は延長になる場合があります。予めご了承ください。

※発表は全て日本語で行います。

※都合により発表者や発表順が変更になることがあります。

※開催はオフラインのみとなります。オンライン配信やアーカイブ映像の提供予定はございません。

会場 : デジタルハリウッド大学 駿河台キャンパス

東京都千代田区神田駿河台 4-6 御茶ノ水ソラシティ アカデミア 3F

<https://gs.dhw.ac.jp/access/>

参加費 : 無料

主催 : デジタルハリウッド大学

申込み : <https://journal10.peatix.com> (要事前予約)

定員 : 100名(先着受付)

※プレスの方は別途最終ページよりメールでお申込みください。

■ 研究論文発表会 プログラム

14:00 開場

14:30-15:00 「本学と研究紀要の紹介」 木原 民雄(編集幹事) 山崎 敦子

報告(院生):

15:00-15:20 「教育データを大規模言語モデルに学習させるための社会的環境構築調査」 藤井 政登

研究ノート(院生):

15:20-15:40 「成人向け食教育におけるコミュニケーションメソッドを用いたワークショップ実践ノート」 高橋 佳代子

研究ノート(教員):

15:40-16:00 「The Normative Theory in the Infosphere」 前田 邦宏

16:00-16:10 休憩

論文(教員):

16:10-16:30 「Relationships between Success Skills for Young Professionals and Competency Enhancement in University Education: from the Perspective of PROG Test Measurements」 山崎 敦子

報告(職員):

16:30-16:50 「ホームカミングデー2023 から見出した新たな起点」 檜木野 綾子

16:50-17:00 参加者交流会

17:00 閉場

・昨年度の研究紀要の冊子



## 【デジタルハリウッド大学 [DHU] とは】

<https://www.dhw.ac.jp/>

2005年4月、文部科学省認可の株式会社立の大学として東京・秋葉原に開学(現在の所在地は東京・御茶ノ水)。デジタルコミュニケーション学部(4年制大学)とデジタルコンテンツ研究科(専門職大学院)を設置している。

デジタルコミュニケーション学部では、不確実で予測不能な未来を自分らしく生き抜く力を身につける。デジタルコンテンツ(3DCG/VFX、VR/AR、ゲーム、映像、グラフィック、Webデザイン、メディアアート、プログラミング等)と企画・コミュニケーション(ビジネスプラン、マーケティング、広報PR等)を産業界の第一線で活躍する教員から幅広く学べる一学部一学科制を採用。さらにグローバル人材を育成するために外国語の重点的な学習プログラムを備え、留学を推進している。世界43か国・地域出身の学生が在籍し、御茶ノ水駅前が多様性に富むキャンパスを運営している。

デジタルコンテンツ研究科では、超高度情報化社会においてデジタルコミュニケーションを駆使し、社会に変革を起こすリーダーを輩出すべく、創発的学術領域 [SEAD (Science / Engineering / Art / Design)] の4要素をバランス良く身につけ融合し、理論と実務を架橋する人材育成を行う。新規事業プランニングとプロトタイピングなど、院生のアイデアの実装およびスタートアップ支援により、「令和4年度大学発ベンチャー調査」(経済産業省)では全国大学中13位、私立大学中5位となっており、多数の起業家を輩出している。

## 【取材のご案内】

研究紀要論文発表会に、万障お繰り合わせの上、ご参加並びにご取材いただけますようお願い申し上げます。

取材ご希望の方は、下記取材に関する留意事項をお読みいただき、メールにてお申し込みください。

### <取材お申し込み方法>

下記フォームにご記入の上、12月15日(金)18時までにメールでお申し込みください。

### <留意事項>

・登壇者および主催者より、オフレコ及び撮影不可の指示が入る場合がございますので、記事掲載の際はその点を反映いただきますよう、ご理解・ご協力をお願いいたします。

---

### <取材申し込みフォーム>

- ・貴社名 :
- ・貴社媒体名 :
- ・お名前 :
- ・電話番号 :
- ・メールアドレス :
- ・取材形式(該当を全て記載) : スチール / 映像(TV・Web) / ペン
- ・ご来場予定時間 : / 途中参加( 時頃参加予定)

---

→ メール返送先 : [press@dhw.co.jp](mailto:press@dhw.co.jp) (件名 : 『研究紀要論文発表会』取材希望)

【当プレスリリースに関するお問い合わせ】  
デジタルハリウッド株式会社 広報室：川村  
mail: [press@dhw.co.jp](mailto:press@dhw.co.jp)  
TEL: 03-5289-9241

---

デジタルハリウッド公式サイト : <https://www.dhw.co.jp/>  
過去のプレスリリース : <https://www.dhw.co.jp/press-release/>

---